



# 富山県SDGs宣言実施状況報告書



2023年4月28日

企業・団体名 富山県ナチュラリスト協会

代表者名 会長 遠藤博伸

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

## 記

### 1 取組み期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p><b>【目標】</b> 自然保護思想の普及啓発を通じて県民の自然を愛する意識の高まりを目指す</p> <p><b>【実施状況】</b> ・県内各地で季節に合わせ年5回の自然観察会を実施し、生態系保全や自然保護思想を啓発した ・機関誌(年4回発刊)を通じて時々の話題やタイムリーな課題を通じて自然保護への意識を啓発した ・自然保護をテーマとした会員による写真展(5回程度)を開催 ・資質向上のため年6回の会員向け研修会を開催した ・県内各地の自然解説員と意見交換や交流のため持回りの富山県ナチュラリスト大会を開催した ・自然解説員にあたって特に気象(温暖化)・陸性生物(絶滅危惧種保全)・水(雨や大気・河川等の役割)を意識しながら啓発していく</p>
2	<p><b>【目標】</b> 外来植物除去活動を通じて、高山・森林の生物多様性を守る</p> <p><b>【実施状況】</b> ・立山(室堂・弥陀ヶ原等)で自然解説員(ナチュラリスト)による外来植物除去活動実施 3回実施 66名参加 イタドリ、ゴマナ、スギナなど27,850本除去 ・高山植物の健全な育成を保全、外来植物の除去や観光客へのマナーを指導 ・自然解説員の指導で諸団体・グループによる外来植物除去活動実施 3回実施 207名参加 イタドリ、シロツメクサなど41,306本除去 ・専門知識・技術習得のため、座学研修会1回、現地研修会1回実施 ※立山での外来植物除去活動が評価され日本自然保護協会から「日本自然保護大賞2022」の入選受賞 ※令和4年度から当協会では外来植物除去の特別チームを設置し積極的な活動を実施する</p>
3	<p><b>【目標】</b> フィールドの調査を通じて高山の動植物の変化・推移を把握し対策に活かす</p> <p><b>【実施状況】</b> ・過去からの植物育成状況データのデータベース化に着手した これにより生態系の変化・推移を確認し、具体的な自然保護活動・啓発活動に反映していく ・植生モニタリングの方法を検討し、令和4年から実施していく ・自然保護施策・手法について、要請があった関係機関に提言した</p>

※事業が継続していることから、取組み期間は年度の活動期間とした。